

第15回「食」と「漁」を考える地域シンポ

道東海域で魚種交替が起きつつあるのか？

～サンマ・サバ・イワシ漁況をめぐって～

主催：（一財）東京水産振興会・（社）漁業情報サービスセンター

後援：釧路市・（社）釧路水産協会・釧路市漁業協同組合

・北海道立総合研究機構水産研究本部釧路水産試験場

とき：2012年11月27日（火） 13：00～16：30（シンポ）

16：45～18：30（交流会）

ところ：マリントポスクしろ3階大研修室

（釧路市浜町3番18号くしろ水産センター内 電話：0154-22-0191）

コーディネーター：二平 章（漁業情報SC・茨城大学地総研）

プログラム

主催者挨拶：渥美雅也（東京水産振興会専務理事） 13：00～13：15

来賓挨拶：蝦名大也（釧路市長）

開催趣旨説明

●話題提供

セッション1. サンマ・サバ・イワシ類の来遊はどう変化してきているか？

1. 道東沖の漁況変化と水産釧路 13：15～13：35

戸田 晃（釧路市漁業協同組合代表理事組合長）

2. 近年におけるサンマの漁場形成と来遊動向 13：35～13：55

小林 喬（漁業情報サービスセンター道東出張所長）

3. 道東におけるサバ・イワシ類の来遊動向と漁場形成 13：55～14：15

森 泰雄（釧路水産試験場専門研究員）

セッション2. サンマ・サバ・イワシ類資源は変動期に入ったのか？

4. サンマの分布性状と来遊動向変化 14：15～14：45

中神正康（東北区水産研究所主任研究員）

5. 日本近海におけるサバ・マイワシの資源動向 14：45～15：15

川端 淳（中央水産研究所資源評価グループ長）

（休憩 10分）

●パネル討論

15：25～16：30

パネラー：山田 豊（釧路水産物流通協会）

戸田 晃（釧路市漁業協同組合）

小林 喬（漁業情報SC道東出張所）

中神正康（東北区水産研究所）

森 泰雄（北海道釧路水産試験場）

川端 淳（中央水産研究所）

●参加者交流会

16：45～18：30

会場：マリントポスくしろ 一階食堂

交流会参加費：2,000円（シンポ受付で申し込み）

■開催趣旨■

今期、道東のサンマ漁は3年連続の不漁に見舞われ、道東経済にも大きな影響を及ぼした。不漁の要因として、夏の猛暑による表層高水温がサンマの来遊をさまたげたとする説、前年における中小型サンマの獲りすぎが、今期の大型サンマの資源減少をもたらしたとする説、好漁を続けてきたサンマが気候・海洋変動影響を受けて不漁期に入りだしたとする説などが取りざたされた。また、一方で今年は釧路沖に十数年ぶりに本格的なマサバ、マイワシのまき網漁場が形成されるなど、道東漁場に来遊する魚種動向に明らかな変化が生じている。これらの現象が一時的なものなのか、ある程度長期化するのかは、道東水産経済界にとって大きな関心事となっている。そこで、本シンポジウムでは、今期の漁況を振り返るとともに、サンマ、サバ、イワシ類資源の今後の動向について議論したい。

■シンポ参加自由・先着100名■

■シンポ参加申し込み先■

北海道内参加者：（社）釧路水産協会（山田）

電話：0154-23-2970 ファックス：0154-23-2971

北海道外参加者：東京水産振興会（松田）

電話：03-3533-8111 ファックス：03-3533-8116

E-mail：tkyfish@blue.ocn.ne.jp

■参加申込書■

FAXでの参加申し込みをご希望の方は、必要事項をご記入の上、上記申込先のいずれかにお送りください。

氏名	所属	シンポ	交流会